

3 取組内容（個表）

番号	2	取組名	地域防災力の向上	所属名	防災・資産管理課	区分	
あるべき姿（目指す姿）			地域とともに防災活動に取り組む防災士が増え、複数の地域振興会で地区防災計画が策定されるなど、地域防災力の向上が一層図られている。				
現状と課題			地域振興会の推薦により資格を取得した防災士は86名（うち女性16名）、地区防災計画を策定している地域振興会は1地域振興会である。能登半島地震を経験し、自助や共助による災害対応強化の重要性も高まっていることから、地域防災力の向上に向け、一層、防災士の養成と地区防災計画の策定を促進する必要がある。				
課題解決に向けた取組			引き続き、地域振興会から推薦された者の防災士の資格取得を支援し、地域と密接に関わる防災士の養成に取り組むとともに、女性防災士の養成に努める。また、地区防災計画の策定促進に向け、地域振興会に対し作成方法の助言や地元防災士との連携について支援を行う。				
数値目標		項目名	単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率
		地域振興会から推薦され資格取得をした防災士の数	人	86	109	172	
		地区防災計画を策定した地域振興会の数	地域振興会	1	2	27	
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
防災士の資格取得支援			働きかけ実施				
地区防災計画策定支援			働きかけ実施				
備考			狙う効果				
			☐ 経費の節減 ☐ 地域の活性化・魅力向上 ☐ 費用対効果の向上 ☐ 財政・経営の健全化 ☐ 事務効率の向上 ☐ 透明性の確保・市民への説明責任 ☐ 業務量の低減 ☐ 市民協働の推進 ☐ サービスの向上 ☐ 公平性・公正性の確保 ☐ 職員の能力・組織力の向上				

3 取組内容（個表）

番号	2	取組名	地域防災力の向上	所属名	防災・資産管理課	区分	一部変更
あるべき姿（目指す姿）			地域とともに防災活動に取り組む防災士が増え、複数の地域振興会で地区防災計画が策定されるなど、地域防災力の向上が一層図られている。				
現状と課題			地域振興会の推薦により資格を取得した防災士は86名（うち女性16名）、地区防災計画を策定している地域振興会は1地域振興会である。能登半島地震を経験し、自助や共助による災害対応強化の重要性も高まっていることから、地域防災力の向上に向け、一層、防災士の養成と地区防災計画の策定を促進する必要がある。				
課題解決に向けた取組			地区防災計画の策定促進に向けて、地域振興会に対して手引きを活用した説明を行うほか、計画策定の初期段階からの防災士派遣制度の周知に努める等、積極的な支援に取り組む。 あわせて、地域振興会から推薦された者の防災士の資格取得を引き続き支援するとともに、研修を通してスキルアップに努める等、地域と連携しながら防災士が地域の防災活動に積極的に関わることができるよう取り組む。				
数値目標		項目名	単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率
		地域振興会から推薦され資格取得をした防災士の数	人	86	109	172	
		地区防災計画を策定した地域振興会の数	地域振興会	1	2	27	
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
防災士の資格取得支援			働きかけ実施				
地区防災計画策定支援			働きかけ実施				
備考			狙う効果				
地区防災計画の策定促進や防災士の育成に関する取組について「課題解決に向けた取組」の記述を変更する。			☐ 経費の節減 ☐ 地域の活性化・魅力向上 ☐ 費用対効果の向上 ☐ 財政・経営の健全化 ☐ 事務効率の向上 ☐ 透明性の確保・市民への説明責任 ☐ 業務量の低減 ☐ 市民協働の推進 ☐ サービスの向上 ☐ 公平性・公正性の確保 ☐ 職員の能力・組織力の向上				

3 取組内容（個表）

番号	42	取組名	効率的な道路維持管理システムの運用	所属名	道路課	区分	新規 令和7年度
あるべき姿 （目指す姿）			道路維持管理業務の効率化が進むことにより迅速かつ効果的な対応につながり、適切に市道が管理されている。				
現状と課題			道路施設の老朽化の進行等に伴う補修などの維持管理に係る業務の増加や複雑化に対応しながら、限られた人員で効率的な道路の維持管理を行う必要がある。				
課題解決に向けた取組			専用アプリをインストールしたスマートフォンを道路パトロール時に活用することにより効率的に異常箇所の情報収集やパトロール記録の作成を行うとともに、それらの情報と外部からの通報・苦情などのデータを共有・一元管理する道路維持管理システムを導入する。				
数値目標		項目名	単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率
		—	—	—	—	—	
		取組スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		道路維持ICT管理システムの導入		検討	導入	運用	
		備考	狙う効果				
			☐ 経費の節減 ☐ 地域の活性化・魅力向上 ☐ 費用対効果の向上 ☐ 財政・経営の健全化 ☐ 事務効率の向上 ☐ 透明性の確保・市民への説明責任 ☐ 業務量の低減 ☐ 市民協働の推進 ☐ サービスの向上 ☐ 公平性・公正性の確保 ☐ 職員的能力・組織力の向上				

3 取組内容（個表）

番号	42	取組名	効率的な道路維持管理業務の推進	所属名	道路課	区分	新規 令和7年度
あるべき姿 （目指す姿）			道路維持管理業務の効率化が進むことにより迅速かつ効果的な対応につながり、適切に市道が管理されている。				
現状と課題			道路施設の老朽化の進行等に伴う補修などの維持管理に係る業務の増加や複雑化に対応しながら、限られた人員で効率的な道路の維持管理を行う必要がある。				
課題解決に向けた取組			専用アプリをインストールしたスマートフォンを道路パトロール時に活用することにより効率的に異常箇所の情報収集やパトロール記録の作成を行うとともに、それらの情報と外部からの通報・苦情などのデータを共有・一元管理する道路維持管理システムを導入する。 また、システムの導入とあわせて、軽微な修繕は民間事業者による現場調査及び補修の業務委託を実施する。				
数値目標		項目名	単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率
		—	—	—	—	—	
		取組スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		道路維持ICT管理システムの導入		検討	導入	運用	
		市道維持補修業務委託の実施		検討	実施		
		備考	狙う効果				
		本取組については、記述を補記するため、事務局修正しております。	☐ 経費の節減 ☐ 地域の活性化・魅力向上 ☐ 費用対効果の向上 ☐ 財政・経営の健全化 ☐ 事務効率の向上 ☐ 透明性の確保・市民への説明責任 ☐ 業務量の低減 ☐ 市民協働の推進 ☐ サービスの向上 ☐ 公平性・公正性の確保 ☐ 職員的能力・組織力の向上				

3 取組内容（個表）

番号	56	取組名	健全な事業運営における下水道事業ビジョンの見直し		所属名	上下水道業務課	区分	一部変更
あるべき姿 (目指す姿)		将来にわたり持続可能な下水道事業運営が実施されている。						
現状と課題		人口減少と節水器具の普及により使用料収入が減少する一方、電力料金の高騰等により費用が増加傾向にあるため、その対策を確立する必要がある。						
課題解決に向けた取組		下水道施設の計画的かつ効率的な更新や流域下水道への接続等により維持管理の効率化を図る。あわせて、その取組を含めた経営情報を市民と共有するとともに、使用料水準適正化の必要性について、より一層の周知に取り組む。						
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	－		－	－	－	－	－	
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
現行ビジョンの見直し			検討(済)	見直し案策定	公表	運営及び検証		
備考					狙う効果			
令和7年6月に見直しを行った下水道事業ビジョンとの整合を図るため、「課題解決に向けた取組」を変更する。					□ 経費の節減 □ 地域の活性化・魅力向上 □ 費用対効果の向上 □ 財政・経営の健全化 □ 業務量の低減 □ 透明性の確保・市民への説明責任 □ 事務効率の向上 □ 市民協働の推進 □ サービスの向上 □ 公平性・公正性の確保 □ 職員の能力・組織力の向上			

3 取組内容（個表）

番号	56	取組名	健全な事業運営における下水道事業ビジョンの見直し		所属名	上下水道業務課	区分	一部変更				
あるべき姿 (目指す姿)		将来にわたり持続可能な下水道事業運営が実施されている。										
現状と課題		人口減少と節水器具の普及により使用料収入が減少する一方、電力料金の高騰等により費用が増加傾向にあるため、その対策を確立する必要がある。										
課題解決に向けた取組		下水道施設の計画的かつ効率的な更新や流域下水道への接続、官民連携（ウォーターPPP）の導入の検討等により維持管理・更新業務の効率化を図る。 あわせて、その取組を含めた経営情報を市民と共有するとともに、使用料水準適正化の必要性について、より一層の周知に取り組む。										
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率					
	－		－	－	－	－	－					
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度					
現行ビジョンの見直し			検討(済)	素案策定	公表	運営及び検証						
備考					狙う効果							
令和7年6月に見直しを行った下水道事業ビジョンとの整合を図るため、「課題解決に向けた取組」を変更する。					□ 経費の節減				□ 地域の活性化・魅力向上			
					□ 費用対効果の向上				□ 財政・経営の健全化			
					□ 事務効率の向上				□ 透明性の確保・市民への説明責任			
					□ 業務量の低減				□ 市民協働の推進 □ サービスの向上			
					□ 公平性・公正性の確保				□ 職員の能力・組織力の向上			